

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	06	01	06	0402	土地改良事業		
総合計画	分野	暮らし					
	政策	2-2	生活基盤の充実				
	施策	1	道路環境の充実				
目的	生産基盤の整備						
対象	笹間地区農道利用者						
意図	農道交通の安全性や快適性を向上させる						
事業概要							
○農道舗装事業負担金（旧和賀川土地改良区施行）							
市民参画の有無 【 対象外 】							
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 負担金支払先	箇所	計画		1	1		
		実績		1	1		
②		計画					
		実績					
③		計画					
		実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 未償還元金	千円	目標		7,122	5,728		
		実績		7,122	5,728		
②		目標					
		実績					
③		目標					
		実績					
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
償還計画に基づく		
目的妥当性	公共関与の妥当性	債務負担契約により負担
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	債務負担契約により負担し未償還元金を償還
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	債務負担であるため事業費の削減余地はない 支払業務のみであるため人件費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	債務負担契約により負担しているため適正である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価		
債務負担契約により適正に負担している		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 藤原克典 内線 573
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	06	0402	土地改良事業

単位：千円

	25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,644		1,644
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源		1,644	1,644

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 5 年度 ~ 平成 31 年度]

部経営方針における目標
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯
農産物の集出荷や生産資材の運搬を円滑にし、荷痛み防止のため。また、農村生活環境の向上のため。

事業概要
○農道舗装事業負担金（旧和賀川土地改良区施行）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
償還終了まで償還計画により負担していく

《事業手法の詳細》

○農道舗装事業負担金 1,644千円 (H25当初比 0千円)

土地改良区施行農道舗装整備事業に係る借入償還金の債務負担

事項	支出先	期間	H26支出額	H27以降支出額
農道舗装事業負担金	石手中部土地改良区 (旧和賀川土地改良区)	H5-H31	1,644	6,228